

新型コロナ対策

2020 年 10 月 5 日 版

札幌青少年吹奏楽団

はじめに

私たちの音楽活動と、感染防止を両立させ、安心して活動するための対策をまとめました。

新型コロナウイルスは無症状の段階から他人にうつしてしまうと言われています。そして吹奏楽の活動は、多くの人数が集まる集団活動であり、三密になりやすく、呼吸量も多く、手を顔の近くに持っていく頻度も高い。このような、音楽活動を行う上での特徴を把握し、しっかりとした対策を立て、正しくウィルスを怖がり、安全に活動していきたいと考えています。

この文書は、状況に応じて適宜見直していきます。

1. 練習への参加

次に当てはまる人は、練習への参加を自粛してください。

- 風邪症状がある。味覚嗅覚に異常がある。
- 最近 1 週間以内に、感染流行地へ行った。

次に当てはまる人は、練習への参加を慎重に検討してください。

- 最近 1 週間以内に、感染流行地から来た人と濃厚接触した。
- 最近 1 週間以内に、感染対策が十分ではなさそうな、三密の場所へ行ってしまった。
- 最近 1 週間以内に、ついつい飲み会に行ってしまった。

普段から、手洗い、うがい、三密を避ける等の感染対策を心がけ、無症状感染者にならないよう気を付けましょう。まずは、持ち込まないことが重要です。

2. 参加者の記録

団としての活動に参加した人の記録を取ります。

万が一感染が発生した場合には、必要な情報を当局へ提出しますので、あらかじめご了承ください。

また、できるだけ、会場の写真（練習の様子）を撮影しておくようにします。

3. 練習会場の選定

十分な広さを確保できること、換気できること（十分な換気量があること）、に留意して練習会場を選定することとします。

有志で個人練習・パート練習を行う際も、十分に注意してください。

4. 楽器演奏

楽器演奏自体そのもののリスクは、「日常会話」や「発声」に比べてそれほど高くないと考えられています。

楽器演奏時の飛沫の出方は各楽器によってそれぞれ特徴があるようですが、各方面で実施された検証の内容によって、多少のブレがあります。

ただし、金管のバズィングと、マウスピース単体・ダブルリードの単体での音出しは、多くの飛沫を飛散させてしまう結果が出ているので、注意が必要です。

- バズィング（くちびるブルブルを含む）や、マウスピース・ダブルリード単体での音出し・練習は、厳禁とします。
- 各プレーヤーは、手を伸ばしても届かない程度、間隔を空けてください。

<参考>

「COVID-19 影響下における公園再開に備えた試演」における粒子計測結果 報告書（慶応技術大学理工学部応用化学科教授 奥田知明）より抜粋

オーケストラ演奏により発生する微粒子（エアロゾル）および飛沫（以下「飛沫」と表現する）を計測した。具体的には、トランペットやフルートなどの10種類の管楽器と男性・女性歌手から出る飛沫を見た。最も明確に見えたのは男性歌手だが、歌い方によって飛沫の飛び方は異なり、ドイツ語の朗々とした歌い方では飛沫はそれほど多くなく、イタリア語で破裂音が多い曲では多くの飛沫が見えた。なお歌い手（身長190cm）から65cmのところに計測器を置いた時は明確に見えたが、同じ歌い方で180cm離れた際には明確には見えなかった。また女性歌手からの飛沫は、男性歌手と比較して明確に少なかった。10種類の楽器（オーボエ、トランペット、ホルン、チューバ、トロンボーン、フルート、ピッコロ、ファゴット、クラリネット、バスクラリネット）から出る飛沫は、楽器や口元に極めて接近した際にわずかに見られ、またマウスピースのみを吹いた場合は計測可能な量の飛沫が発生したが、**男性歌手よりも飛沫を発生する楽器は一つもなかった**。総じて、**少なくとも今回測定した10種類の楽器全てにおいて、通常の演奏時に、「人の日常会話よりも顕著に多く飛沫を放出する」とは考えにくい**。つまり、広い舞台における楽器演奏中（本番中）のリスクは、演奏前後（リハーサル、食事、会話、打ち上げ等、つまり日常生活）より顕著に高いとは考えにくい。

5. つば抜き

つば抜き水は、そのほとんどが結露水（水蒸気が結露したもの）と言われています。ただし、ウィルスが管内の結露水に移ってしまう可能性も指摘されています。

また、息を勢い良く吹き込んでつば抜きをすると、多くの飛沫が拡散する、という実験結果が示されています。

- キーホールからつば抜きをする場合は、勢いよく息を入れてつば抜きをしないでください。
- 周囲につば抜き水が飛び散らないよう、各自対策してください。
（例：YAMAHA ホームページには、タオルやハンカチなどで飛沫が出る可能性がある部分を覆う、ウォーターシートなどに近いところで行う、といった例が紹介されています。）
- 演奏後は、床を清掃してください。

6. 飛沫対策

演奏そのものよりは、三密によるリスク、演奏時にマスクをしないことによるリスク、および、マウスピースを口に当てること（手を顔に近づけて口や目鼻に触る頻度が高まること）によるリスクの方が高いと言えます。

- 会場に到着した時、休憩時など、適宜手指消毒を行ってください。
- マスクなしの会話・おしゃべりは禁止です。
- Mambo!、Slava!、等の掛け声も禁止です。おかしくても笑いはこらえてください。
（肘で隠してなら OK）
- 発言・会話する場合は、必ずマスクをしてください。楽器を手に持っているときにくしゃみをしたくなった場合に備えて、とっさに口を肘で隠せるように練習しておいてください。

次のような感染ルートが考えられます。楽器やマウスピースに触る前に、手指消毒をしてください。
楽器ケースやケースの取っ手も汚染されている可能性があるので、注意してください。

ドアノブなど不特定多数が触れたところ → 自分の手 → マウスピース → 口や目

7. 三密の回避

三密を回避するために、次のことを順守してください。

- 練習会場は、**30～45 分ごとに換気**してください。
- 各プレーヤーは、**手を伸ばしても届かない程度、間隔を空けて**ください。

8. 指揮者

指揮者は、多くの奏者と向き合って指導することから、以下のような感染対策を実施してください。

- マスクやフェイスガード、透明のついたて等を利用する。
- 奏者からの距離を十分に保つ。

また、指揮者が大声を出さなくても良いよう、できるだけマイク等を利用することとします。

9. もし体調が悪化したら...

次のような状況になった場合は、パートリーダーもしくは役員へ、速やかに連絡をお願いします。

- 体調が悪化して医療機関を受診したり、保健所などに相談した場合
- PCR 検査等を受けるよう指示を受けた場合、または検査を受けた場合
- 本人の感染が確定した場合
- 本人が、どなたかの濃厚接触者と特定された場合

状況に応じて練習を中止する等の措置を取ります。

以 上

<参考>

- 吹奏楽の活動及び演奏会等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（全日本吹奏楽連盟）

<http://www.ajba.or.jp/guideline.pdf>

- シエナ・ウインド・オーケストラ・新型コロナウイルス感染症対策検証試演会 《報告と対策》

<https://sienawind.com/wp-content/uploads/2020/08/812kensho.pdf>

- 演奏会再開への行程表と指針・第2版（東京都交響楽団）

https://www.tmsso.or.jp/j/wp/wp-content/uploads/2020/07/Guidelines_ver.2.0.pdf

- クラシック音楽演奏・鑑賞にともなう飛沫感染リスク検証実験 報告書（クラシック音楽公演運営推進協議会・一般社団法人日本管打・吹奏楽学会）

https://storage.googleapis.com/classicorjp-public.appspot.com/classic_guideline0612.pdf

- クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（クラシック音楽公演運営推進協議会）

<http://www.jas-wind.net/pdf/20200817kekkaCOVID-19musiccultureproject.pdf>

- 管楽器・教育楽器の飛沫可視化実験（YAMAHA）

https://jp.yamaha.com/products/contents/winds/visualization_experiment/?yclid=YJAD.1592265485.Ds8Dmcedcq0xEaaf2h8R_vfsajKb.c68HTJ9u3ogMGPvrt53Me7PiQYh3dGWguH1VliawzpHL1ztRVQ-

- プラスチック・リコーダーにおけるウイルス感染症防止ガイド（全音楽譜出版社）

[http://www.zen-](http://www.zen-on.co.jp/music_news/%E3%80%8C%E3%83%97%E3%83%A9%E3%82%B9%E3%83%81%E3%83%83%E3%82%AF%E3%83%BB%E3%83%AA%E3%82%B3%E3%83%BC%E3%83%80%E3%83%BC%E3%81%AB%E3%81%8A%E3%81%91%E3%82%8B%E3%82%A6%E3%82%A4%E3%83%AB%E3%82%B9%E6%84%9F/)

[on.co.jp/music_news/%E3%80%8C%E3%83%97%E3%83%A9%E3%82%B9%E3%83%81%E3%83%83%E3%82%AF%E3%83%BB%E3%83%AA%E3%82%B3%E3%83%BC%E3%83%80%E3%83%BC%E3%81%AB%E3%81%8A%E3%81%91%E3%82%8B%E3%82%A6%E3%82%A4%E3%83%AB%E3%82%B9%E6%84%9F/](http://www.zen-on.co.jp/music_news/%E3%80%8C%E3%83%97%E3%83%A9%E3%82%B9%E3%83%81%E3%83%83%E3%82%AF%E3%83%BB%E3%83%AA%E3%82%B3%E3%83%BC%E3%83%80%E3%83%BC%E3%81%AB%E3%81%8A%E3%81%91%E3%82%8B%E3%82%A6%E3%82%A4%E3%83%AB%E3%82%B9%E6%84%9F/)

- 鍵盤ハーモニカ演奏時の飛沫可視化実験（鈴木楽器製作所）

<https://www.suzuki-music.co.jp/information/35211/>

- リコーダー演奏時の飛沫可視動画と感染症対策（トヤマ楽器製造）

http://www.aulos.jp/topics/topics_20200527.html